

平成28年度 教育課程にかかわる活動の現状と課題

部長 神 林 均

1 教育課程にかかわる活動の現状

【 上越地区 】

- 上越市では、上越教育大学から講師を迎え、講演を通して「カリキュラム・マネジメント」についての理解を深め、自校の推進体制整備に向かった。
- 柏崎市刈羽郡では、「社会総がかりでの人づくり」の講話から、学校と地域との日常的な関係づくりの大切さを再確認した。また、講話「見ようとしなければ見えない差別」をもとに、差別の現状理解と差別解消に向けた研修を行った。
- 糸魚川市では、子ども一貫教育基本計画に基づき「五つの育てたい力」を掲げ、「ジオパーク学習」を中核とした様々な取組を通してふるさと糸魚川への愛着形成を図っている。

【 中越地区 】

- 長岡市三島郡では、学習指導改善調査研究事業協力校である関原小学校と栃尾東小学校の研究実践に学ぶ研修会を開催し、自校の実践に生かす機会を設けた。
- 加茂市では、教務主任会を通して各校の取組紹介や情報交換を行い、教育課程の見直しを図った。南蒲原郡（田上町）では、「田上の12か年教育」を策定し、その具現化に向けて教職員の緊密な連携と研修事業を継続的に行っている。
- 燕市西蒲原郡では、校務支援システムの運用に関する研修会を2回開催し、郡市規模で統一または調整すべき点を整理した。
- 魚沼市では、市教委主催「温かい学級づくり支援事業」3年目の取組を進め、市内全6中学校区単位で実践発表会を実施した。
- 南魚沼郡市では、後山小学校・三用小学校・赤石小学校・上関小学校の研究発表会を実施し、授業における具体的な児童の姿の協議から会員の資質向上を図った。

【 下越地区 】

- 五泉市では、教務主任会を通して、「学校評価支援システム」（五泉小）や地域素材やその活用事例に関する情報交換、次期指導要領の学習会から教育課程編成の視点を得た。
- 佐渡市では、教務主任会を通して、教務主任の職務に関する情報交換や講演を行い、教育課程の編成・実施について研修を深めた。

2 教育課程にかかわる活動の課題

平成28年8月末、中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会から「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」が発表された。300頁以上にわたる報告であるが、会員一人一人が報告を読み込み、その内容を深く理解しなければならない。

その上で、各郡市、各校で研修を重ね、平成32年度の新学習指導要領完全実施に向けて、各校が児童の姿や地域の実情等を踏まえて教育課程の全面的な見直しを行い、「社会に開かれた教育課程」としての役割を果たせるようにしなければならない。